

瑞浪超深地層研究所
土地賃貸借契約満了に伴う研究坑道埋め戻し工事完了報告式

1. 日時 令和4年1月14日（金） 11:25～11:40
2. 場所 東濃地科学センター 瑞浪地科学研究館 セミナールーム
3. 出席者 瑞浪市長 水野 光二
 瑞浪副市長 勝 康弘
 総務部長 正村 和英

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

理事 三浦 信之

東濃地科学センター

所長 伊藤 洋昭

副所長 小出 馨

[名簿順、敬称略]

4. 事務局 津田 良介 (企画政策課企画政策係長)
 森 佑太 (企画政策課企画政策係)
5. 随行者 松浦 幸夫 (東濃地科学センター 総務・共生課長)

6. 次第
1. 開式
 2. 出席者紹介
 3. 完了報告
 4. 瑞浪市長あいさつ
 5. 原子力機構理事あいさつ
 6. 質疑応答
 7. 閉式

【1 開式】

事務局 只今より、「瑞浪超深地層研究所 土地賃貸借契約満了に伴う研究坑道埋め戻し工事完了報告式」を始めます。

【2 出席者紹介】

事務局 ここで、出席者の紹介をさせていただきます。

始めに、市側の出席者を紹介します。瑞浪市長 水野光二。瑞浪市副市長 勝康弘。総務部長 正村和英。

続きまして、原子力機構様のご出席者を紹介いたします。国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 理事 三浦信之様。東濃地科学センター 所長 伊藤洋昭様。同副所長 小出馨様。

私は、本日の司会を務めます、企画政策課の津田でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の報告式の概要について説明させていただきます。瑞浪市と原子力機構は、高レベル放射性廃棄物の地層処分研究を目的として、平成14年1月17日から令和4年1月16日までの20年間の土地賃貸借契約を締結しています。この度、研究坑道の埋め戻しと地上施設の撤去を四者協定の関係者である岐阜県、土岐市、瑞浪市、原子力機構で最終確認を行いましたので、原子力機構からの工事完了報告と、その報告を受け、瑞浪市が、令和4年1月16日を以って土地賃貸借契約を終了することを確認するものです。

【3 完了報告】

事務局 それでは、完了報告に移ります。

原子力機構様より、瑞浪市に対して、瑞浪超深地層研究所研究坑道埋め戻し工事について、報告させていただきます。恐れ入りますが、水野市長と三浦理事は、前方へご移動願います。

(移動後)

それでは、報告をお願いいたします。

理事 ※瑞浪超深地層研究所 研究坑道埋め戻し等工事完了報告書を読み上げ、市長に授与

※写真撮影（水野市長、三浦理事）

事務局 ありがとうございました。それでは、水野市長と三浦理事は元の席へお戻りください。

【4 瑞浪市長あいさつ】

それでは、水野光二瑞浪市長より挨拶を申し上げます。

市長 原子力機構様におかれましては、20年間という約束の中でこの研究を着実に進められ、令和4年1月16日までの賃貸借契約期間に予定どおり終了していただき、すべての研究をやり遂げられたことに対しまして、心より敬意と感謝を申し上げます。先ほど現地確認後の挨拶でもいたしましたでしたが、ここで研究されました数々のすばらしい研究成果を広く活用されることを祈念しております。今後約5年程度、環境モニタリングを行っていただくわけですが、市といたしましても、引き続き協力させていただきますので、しっかりと調査を進めていただきたいと思います。

【5 原子力機構理事あいさつ】

事務局 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 理事 三浦信之様にご挨拶を頂戴したいと存じます。

理事 瑞浪市様におかれましては、日頃より東濃地科学センターの事業に対しまして深いご理解、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。平成8年に瑞浪の地で超深地層研究所計画を開始し、平成14年にはこの市有地をお借りし、瑞浪超深地層研究所を設置し事業を行ってまいりました。20年以上の長きにわたり研究を続けてこられましたのも市有地をお貸しいただいた瑞浪市様のご理解とご支援の賜物であると思っております。おかげさまをもちまして、令和元年度までに所期の研究成果を挙げる事ができ、研究を終了する運びになりました。この場をお借りし、あらためて深く感謝申し上げます。瑞浪超深地層研究所で得られましたこの研究成果は、今後の地層処分事業を進めるうえで、重要な知見として活用していきます。先ほどご報告させていただきましたように、無事故・無災害で研究坑道の埋め戻し、また地上施設の解体撤去が完遂し、1月16日の土地賃貸借契約期間の終了を迎えることができました。今後は、1月17日から改めてお貸しいただく市有地におきまして地下水の状態を確認するための環境モニタリング調査を5年程度実施します。その後、令和9年度末までに地上施設の基礎の撤去と整地作業を完了する予定です。引き続き、関係自治体の皆様と締結している2つの協定をしっかりと遵守し、安全の確保と環境の保全を第一に取り組む所存でございます。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

事務局 ありがとうございました。

【6 質疑応答】

事務局 本日は、マスコミの方もお越しいただいておりますので、ここで質疑応答の時間を取りたいと思います。ご質問等がございましたら、挙手にてお願いいたします。

記者 元々この研究では、地下何メートルまで掘る予定でしたか。

機構

当初の計画では1000メートルの予定でしたが、500メートルとしました。

機構改革により3つの研究課題に絞り込み、これらの研究課題は500メートルで実施可能であると判断したことによります。平成26年9月末に報告書としてとりまとめています。

事務局

【7 閉式】

以上をもちまして、「瑞浪超深地層研究所土地賃貸借契約満了に伴う研究坑道埋め戻し工事完了報告式」を閉じさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

(閉会)